



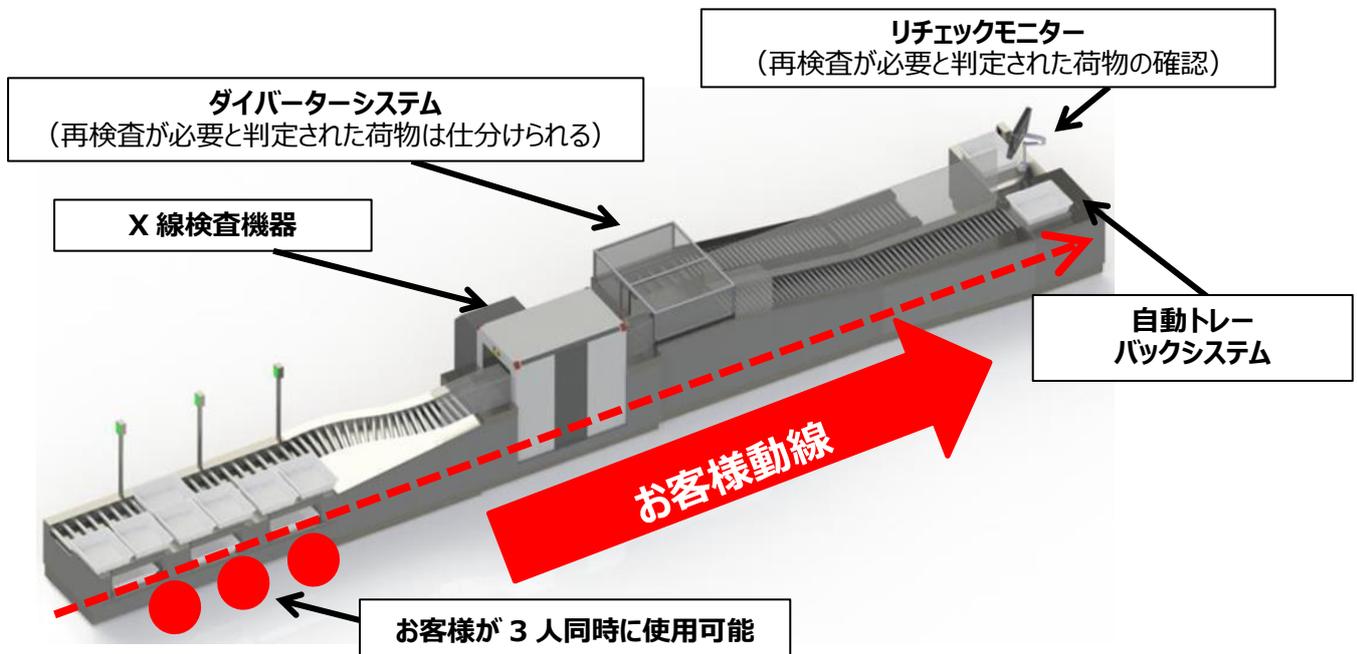
大阪国際空港においてスマートレーンのトライアル運用を開始

関西エアポート株式会社は、大阪国際空港において、2017年7月8日（土）より最先端の保安検査機であるスマートレーンのトライアル運用を開始いたします。スマートレーンは、国内線では日本初、国内空港では関西国際空港第2ターミナルビル（国際線）に続き2例目の導入となります。

これは、関西エアポート株式会社がお客様の待ち時間を減らすために推進する、「ファストトラベル」の取り組みの一環です。スマートレーンを導入することにより、複数のお客様が同時に検査レーンを利用できるため、これまでより素早く手荷物検査を終えることができます。また、トレーの移動が自動化されることで、保安検査員がトレーを移動させる手間を省き、必要な場所へ必要な人員をより効率的に配置することができるため、テロ等の脅威への対応を強化することができます。

スマートレーンの導入は、検査時間を短縮しお客様の満足度を高め、航空機の定時運航を確保するだけでなく、検査をより安全・確実に実施することにもつながります。

関西エアポート株式会社は、引き続きお客様の旅を支える安全の確保や、空港を快適にご利用いただく環境づくりを進めてまいります。



○トライアル運用概要

期間：2017年7月8日（土）～

場所：2階南北保安検査場内 各2レーン 合計4レーン

○スマートレーンの特長

- ・検査レーンの長さを現状の約7mから約14mに延長
- ・検査時間を従来比で約30%短縮
- ・同時に3名のお客様が検査レーンを使用できるため、準備が完了したお客様から順に検査に進むことができ、待ち時間を短縮
- ・手荷物は備え付けの大型専用トレーに入れて流すのみで、お客様がトレーを持ち運ぶ必要がなく、より検査が容易に

【本プレスリリースに関するお問い合わせ先】

関西エアポート株式会社
コーポレートコミュニケーション部
Tel : 072-455-2201



関西エアポート株式会社は、関西国際空港（KIX）および大阪国際空港（ITM）の運営を新関西国際空港株式会社から引継ぎ、2016年4月1日より両空港の運営会社として事業を開始しました。関西エアポートは、オリックス株式会社とVINCI Airports（ヴァンシ・エアポート）を中核とするコンソーシアムにより設立されました。

関西エアポートは、両空港の安全とセキュリティを常に最優先しつつ、適切な投資と効率的な運営によって国内外からの空港利用者へのサービスを強化し、両空港の可能性を最大限に引き出し、地域コミュニティへ貢献することを目標としています。

関西エアポートは、2015年12月15日付けで新関西国際空港株式会社との間で、事業期間を44年とする「関西国際空港及び大阪国際空港特定空港運営事業等公共施設等運営権実施契約」（実施契約）を締結しています。

詳しくは、関西エアポート株式会社ホームページ：www.kansai-airports.co.jp/をご参照ください。

本社	大阪府泉佐野市泉州空港北1番地 大阪市西区西本町一丁目4番1号（登記上）	資本金	250億円
代表者	代表取締役社長 山谷 佳之 代表取締役副社長 エマヌエル・ムノント	設立年月日	2015年12月1日
事業内容	関西国際空港および大阪国際空港の運営業務、管理受託業務等	株主	オリックス 40%、 ヴァンシ・エアポート 40%、 その他の出資者 20% ¹



オリックス株式会社について

オリックスは常に新しいビジネスを追求し、先進的な商品・サービスを提供する金融サービスグループです。

1964年にリース事業からスタートして隣接分野に進出し、現在では融資、投資、生命保険、銀行、資産運用、自動車関連、不動産、環境エネルギー関連などへ事業を広げています。また、1971年の香港進出を皮切りに世界36カ国・地域に拠点を設け、グローバルに展開しています。

2014年に50周年を迎え、これからも経営戦略である“「金融+サービス」の加速化”、“アジア等新興国の成長を取り込む”を推進し、新たな事業機会の獲得と持続的な成長を目指すと同時に、社会に貢献してまいります。



世界有数の空港運営事業者であるヴァンシ・エアポートは、35空港の開発・運営を行っています。同社の空港ネットワークを構成するフランス13空港、ポルトガル10空港（リスボンのハブ空港含む）、カンボジア3空港、日本2空港、ドミニカ共和国6空港、そしてチリのサンチャゴ空港には、合計で200社を超える航空会社が就航し、2016年の旅客者数は1億3,200万人にのぼります。

ヴァンシ・エアポートは総合インテグレーターとして、1万1,000人のスタッフの専門知識と経験を駆使し、空港の開発・資金調達・建設・運営に当たっています。またその投資力、国際ネットワーク、ノウハウを生かして既存空港の運営と機能を最適化し、施設拡充や新規建設を行っています。2016年の連結売上高は10億5,000万ユーロに達します。

詳細は www.vinci-airports.com をご覧ください。

¹ 株式会社アシックス、岩谷産業株式会社、大阪瓦斯株式会社、株式会社大林組、オムロン株式会社、関西電力株式会社、近鉄グループホールディングス株式会社、京阪ホールディングス株式会社、サントリーホールディングス株式会社、株式会社ジェイティービー、積水ハウス株式会社、ダイキン工業株式会社、大和ハウス工業株式会社、株式会社竹中工務店、南海電気鉄道株式会社、西日本電信電話株式会社、パナソニック株式会社、阪急阪神ホールディングス株式会社、レンゴー株式会社、株式会社池田泉州銀行、株式会社紀陽銀行、株式会社京都銀行、株式会社滋賀銀行、株式会社南都銀行、日本生命保険相互会社、株式会社みずほ銀行、三井住友信託銀行株式会社、株式会社三菱東京UFJ銀行、株式会社りそな銀行、株式会社民間資金等活用事業推進機構

スマートレーン国内線初導入 大阪国際空港ターミナル改修プロジェクト第1弾

2017.07.05



Shaping a New Journey



Agenda

 大阪国際空港ターミナル改修プロジェクト
概要と現状

 スマートレーン導入

 スマートレーントライアル
運用内覧会（現地にご案内）



ITAMI Osaka
International
Airport



大阪国際空港ターミナル改修プロジェクト 概要と現状

はじめに



関西エアポートは、お客様に「新しい旅の体験」をご提供するという決意のもと、新しい旅と空港体験を創造していきたくと考えています。



親しみやすい個性・距離感

**PREMIUM
KANSAI**

空港での滞在を、もっと快適に。もっとわくわく感を。
飛行機に乗る方だけでなく、地域の方に日常的にご利用いただける空港に。
もっと関西らしさ、ITAMIらしさを。

そんな思いを込めて、
リニューアル後のITAMIでは、皆さまにITAMIならではの、
“5感で感じるプレミアム体験”をご提供していきます。

スケジュール

 2016年 2月

工事スタート

 2017年 秋

外壁改修

 2018年 春

中央エリアオープン

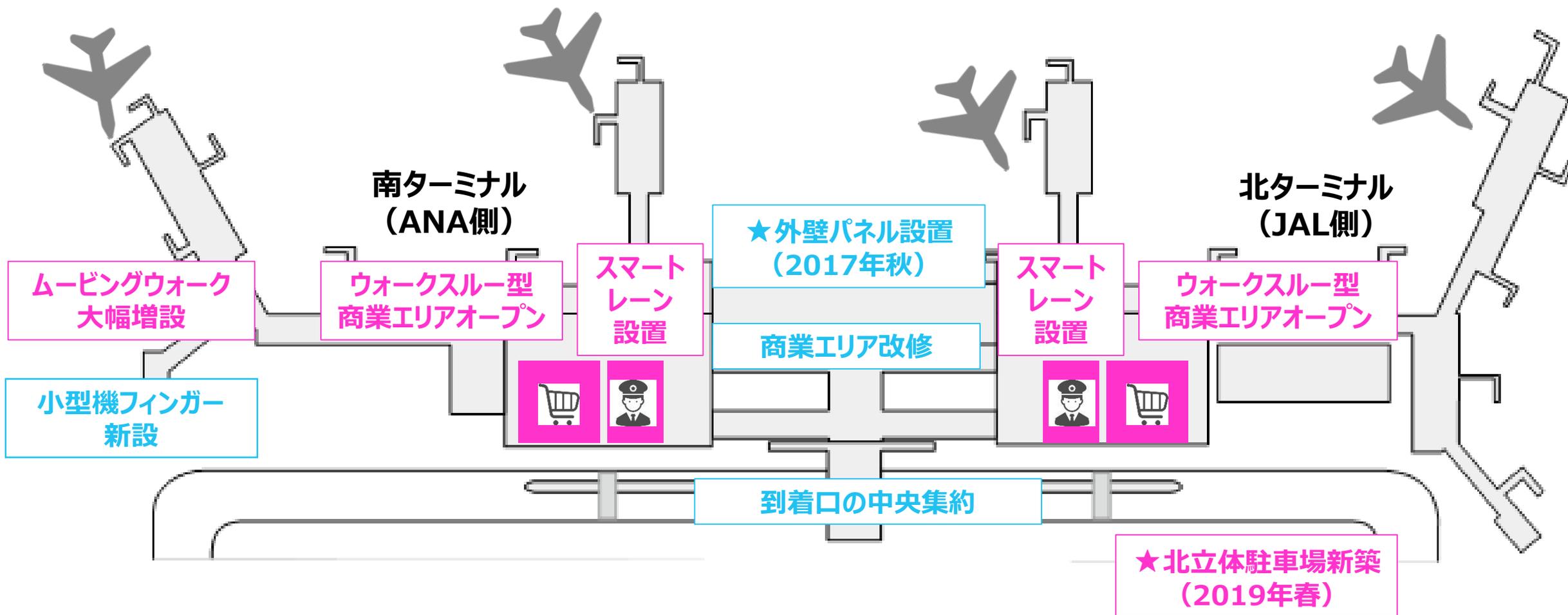
 2020年 夏

グラウンドオープン（春 概成）

※資料内のパース図はすべてイメージ画像です。

2018年 春 中央エリアオープン

2020年 夏 グランドオープン(春 概成)





2017年 秋 外壁改修

環境に配慮したターミナルビル



・外壁を改良

環境性能の高いパネル、ガラス、そして光を通す透過性を持つデザインアルミパネルを使用

・パネルやガラスをランダムに配置し、デザイン性のある外壁に

・省エネ効率

省エネ対策を施すエリアを対象として、外壁の改良、屋根や床の断熱性強化を行うことにより、**約58%**の省エネ効果（冷房費・暖房費の削減）が見込まれる





2018年 春 中央エリアオープン

到着口を集約し、より快適に・スムーズなアクセスを可能に

2018年 春

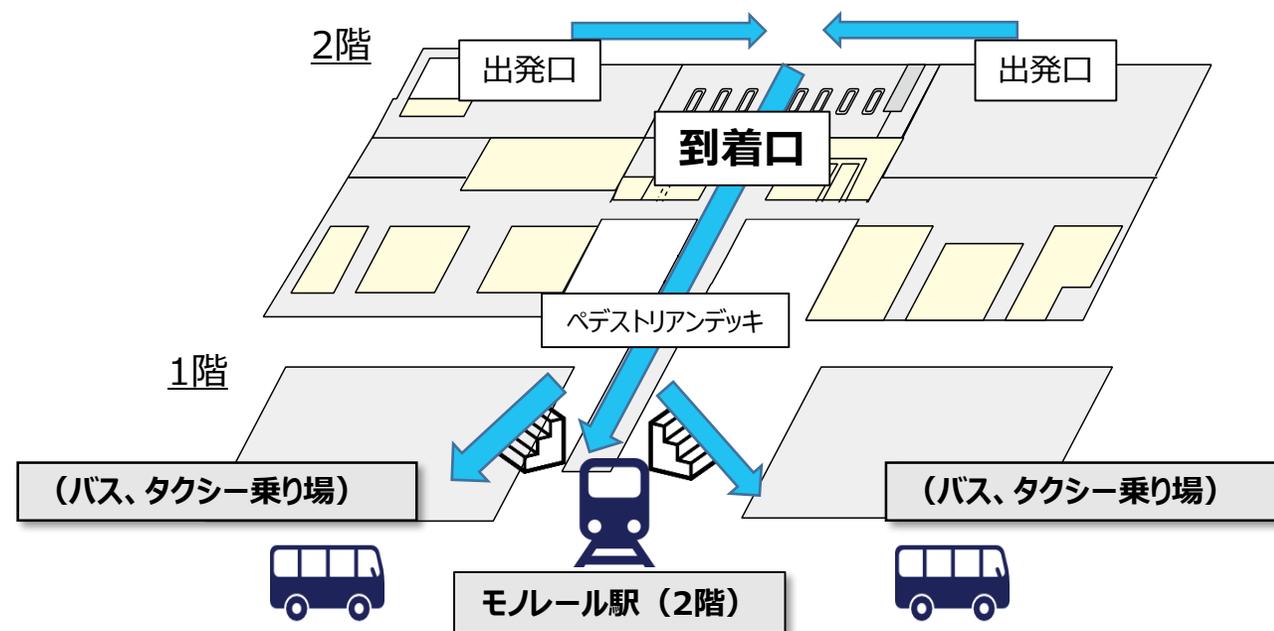


・到着口集約

1階南北に2分されている到着口を2階中央に集約。出迎えの方にもわかりやすく利便性が向上

・スムーズなアクセス

バス、タクシー、モノレール等各種アクセスとの接続もスムーズに



商業エリアの全面改装

2018年 春
一般エリア先行オープン



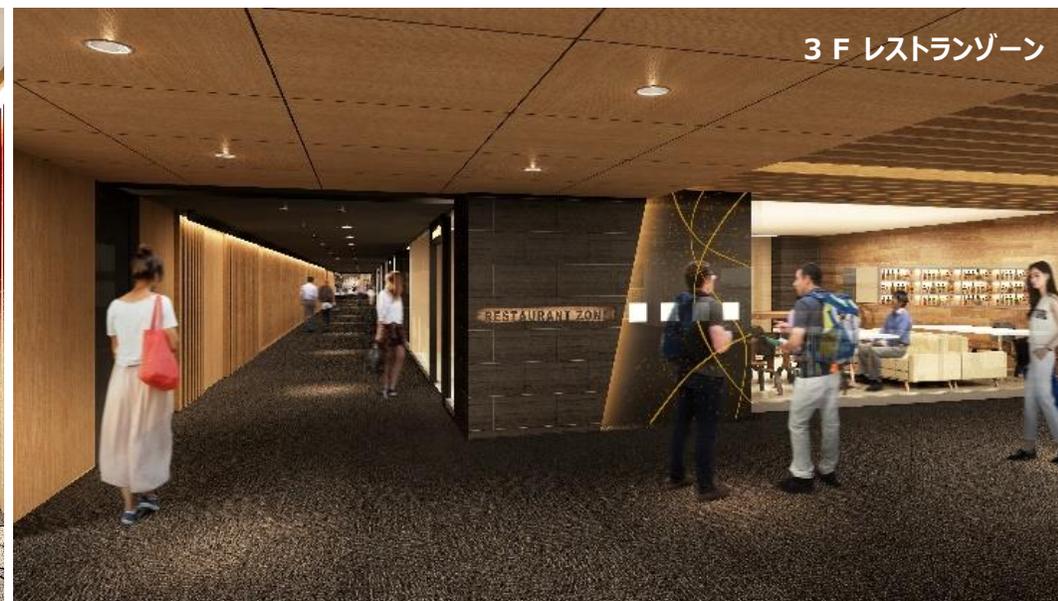
・レストランゾーン（1階～4階）

2階：クイック&リーズナブルに大阪、関西の味を楽しんでいただく

3階：落ち着いた雰囲気の中かで味わい、ゆっくりと楽しんでいただく

・物販店ゾーン（1階、2階、4階）

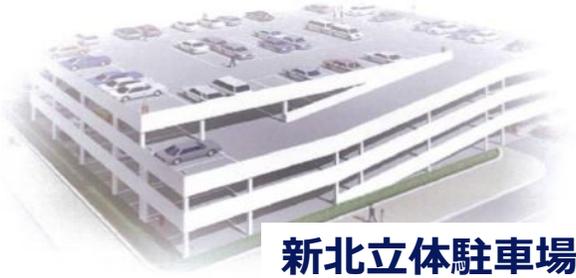
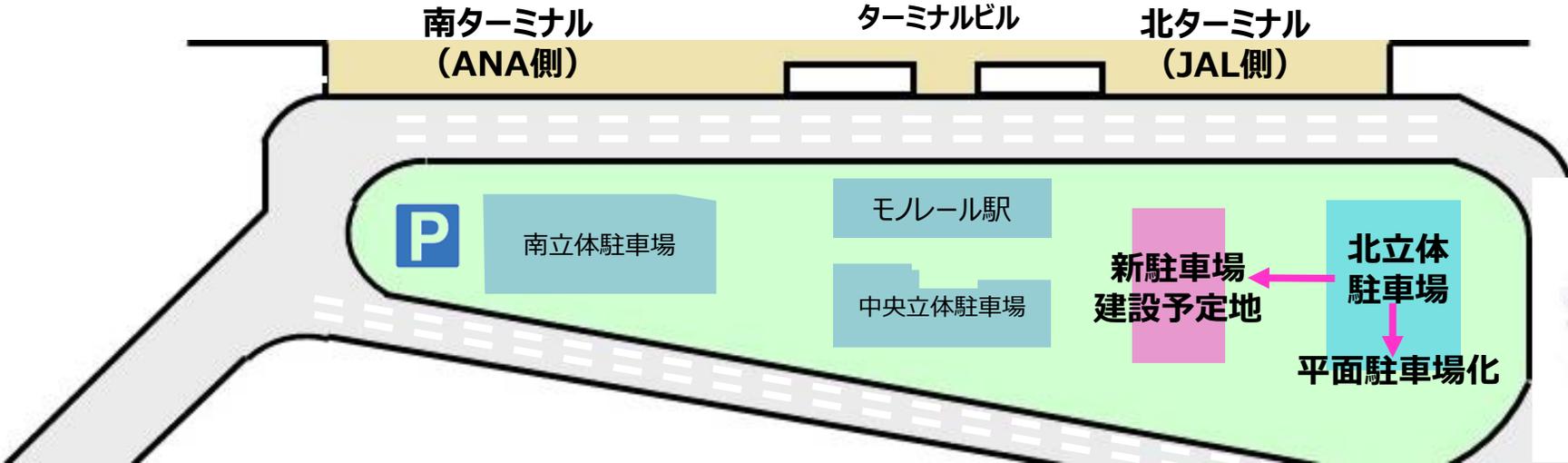
お土産店以外に、地域の方にもご利用いただけるようなバラエティに富んだ店舗



北立体駐車場の建て替え



- ・老朽化した2階建て北立体駐車場を隣接地に4階建て駐車場として建て替え
- ・現北立体駐車場は、平面駐車場化
- ・満車・空車表示、案内サインの改善によるサービスの向上、駐車台数増加



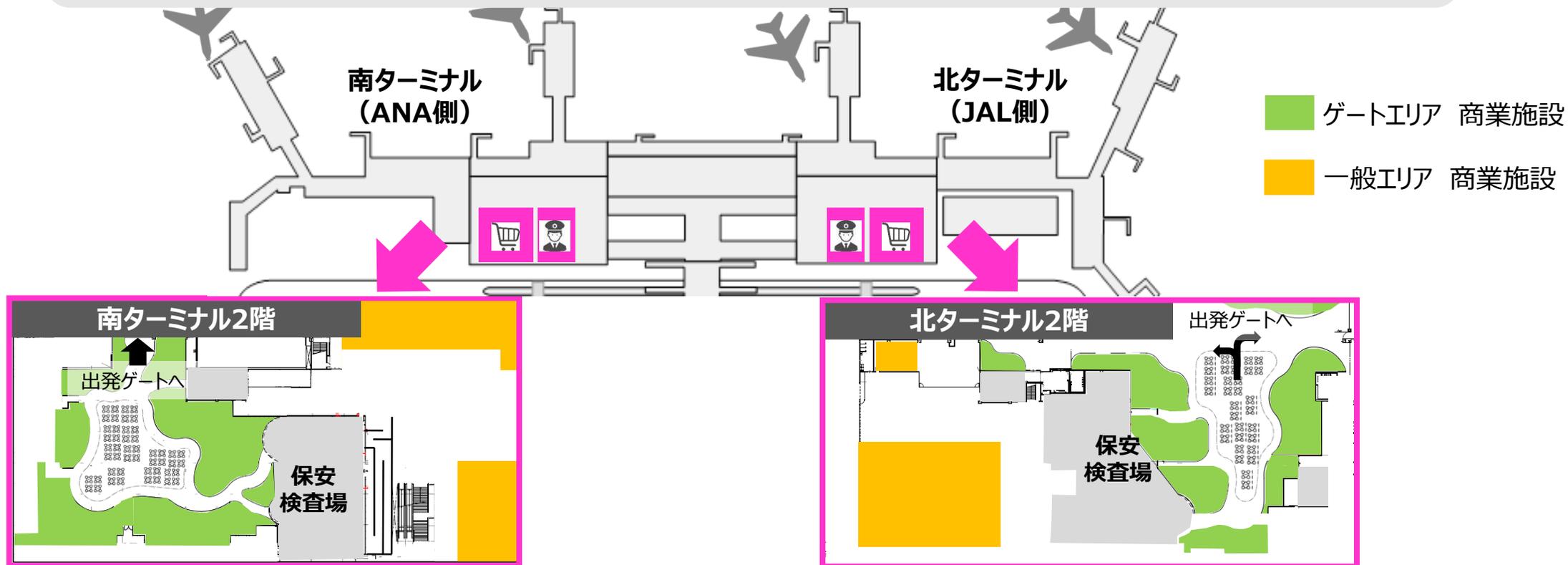
2020年 夏 グランドオープン（春 概成）

ウォークスルー型商業施設設置

2020年 春
ゲートエリア



- ・ウォークスルー型の商業施設を展開
- ・ゲートエリアの商業施設面積は従来比**4.5倍**に
- ・出発までの時間に、快適にお食事・お買い物を楽しんでいただく

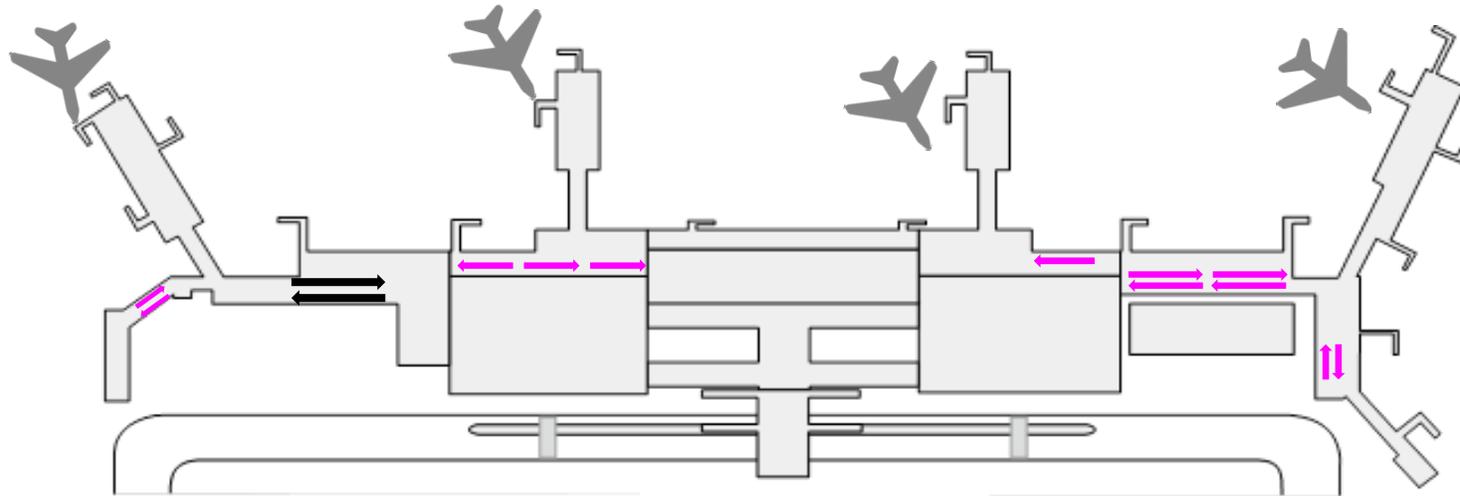


ムービングウォークの大幅増設

2020年 春



- ・コンコース内にムービングウォークを設置し、スムーズな移動を可能に
2基から14基へ大幅増設



← 新設ムービングウォーク
← 既設ムービングウォーク





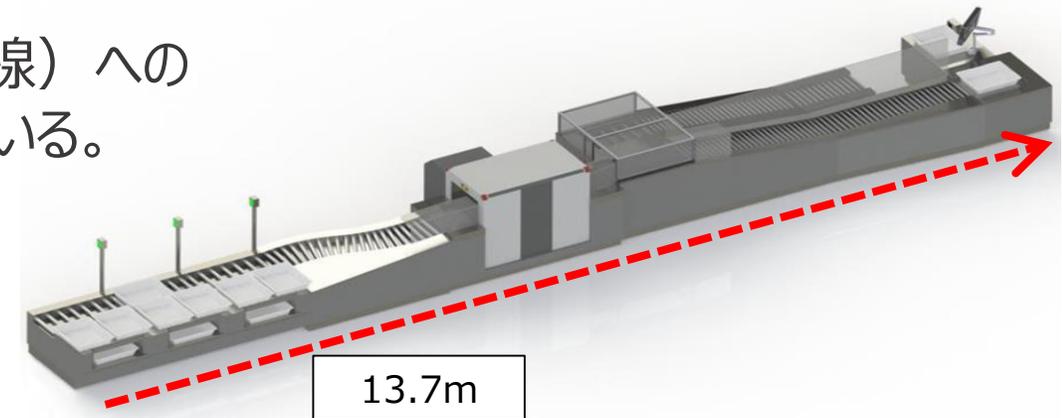
スマートレーン トライアル運用開始

※2017年7月トライアル運用開始
2020年春 本運用

スマートレーンについて

スマートレーンとは、最先端の保安検査機。
関西エアポートがお客様の待ち時間を減らすために推進する、
「ファストラベル」の取り組みの一環。
検査システムの自動化により、同時に複数のお客様が検査レーンを利用できるなど、検査時間の短縮を実現。

2017年1月の関西国際空港第2ターミナルビル（国際線）への導入が日本初で、処理能力150%以上の効果を上げている。



スマートレーン

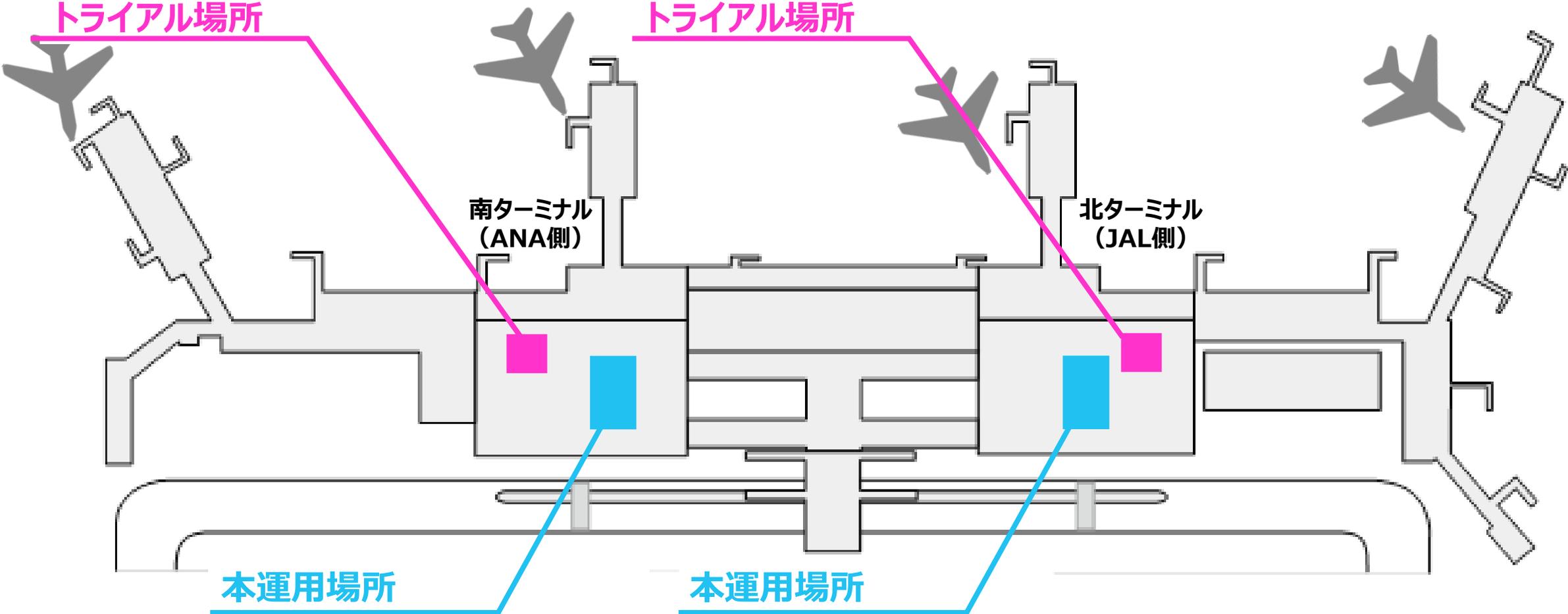


- ・国内線としては日本初導入
- ・検査レーンの長さを現状の7mから約14mに延長し、保安検査にかかる時間を従来比で約30%短縮
- ・お客様に出発エリアでゆっくりおくつろぎいただく時間をご提供



- ・2017年7月8日（土）よりトライアル運用開始
現行の保安検査場を以下のとおり変更
 - 北 9レーンのうち2レーンをスマートレーンに
 - 南10レーンのうち2レーンをスマートレーンに
- ・2020年春には、改修後のエリアにおいて本運用開始予定

スマートレーン設置場所



スマートレーン内覧会（現地にご案内）